

幕末の刀工 藤原清人

ふじわらの きよんじ

令和2年10月31日(土)～11月29日(日)

開幕記念行事 10月31日(土)

●藤原清人碑前祭 午後1時30分より(会場 旧庄内藩主御隠殿)

●展示特別解説会 午後2時より(会場 美術展覧会場)

上林恒平氏(刀匠・山形県指定無形文化財保持者)

本間豊(当館学芸部長)

◆はじめての刀剣講座 ～鑑賞からお手入れ方法まで～

①11月8日(日) ②11月22日(日)

いずれも午後2時～3時30分

参加費500円

講師：矢口秀春氏(日本美術刀剣保存協会 庄内支部理事)

●刀匠・上林恒平氏(山形県指定無形文化財保持者)による制作実演
①11月15日(日) ②11月29日(日)

●印：お申込みは不要です。直接会場にお越しください。
◆印：電話・メールまたは受付窓口でお申込みください。



—名人に似たる所ニツあり、酒呑みと錢無しと—

名匠・清麿、最期の弟子として
時代に翻弄され幕末・明治を生きた仁義に厚き刀鍛冶



致道博物館

〒九九七一〇〇三六 山形県鶴岡市家中新町一〇一一八

開館時間 午前九時～午後五時(入館は午後四時三〇分まで)

入館料 一般五五〇円／大学生四〇〇円／小中高生無料

※「文化芸術の秋キャンペーン」の特別料金となります

共 催

公益財団法人致道博物館
山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会
日本美術刀剣保存協会庄内支部

山形県指定有形文化財
刀銘 羽州大泉住豊前守藤原清人 明治三年八月吉日
(致道博物館蔵)

幕末の刀工 藤原清人

10/31

SAT

会期中
無休

11/29

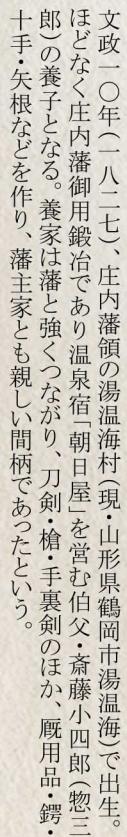
SUN

豊前守藤原清人の作刀と生涯を辿る!!

仙台藩士の子として生まれるが、
庄内藩御用鍛冶の伯父の養子となる



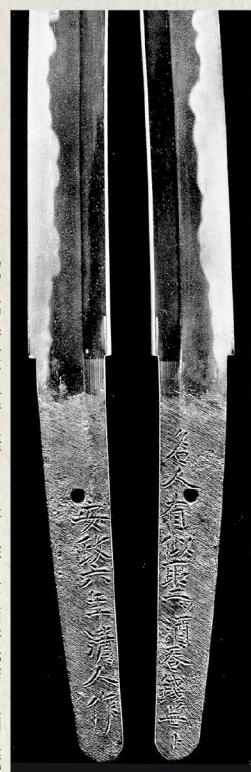
「庄内藩御用鍛冶細工所」看板（個人蔵）



文政一〇年（一八二七）、庄内藩領の湯温泉村（現・山形県鶴岡市湯温泉）で出生。
ほどなく庄内藩御用鍛冶であり温泉宿「朝日屋」を営む伯父・斎藤小四郎（惣三郎）の養子となる。養家は藩と強くつながり、刀剣・槍・手裏剣のほか、厩用品・鍔・十手・矢根などを作り、藩主家とも親しい間柄であったという。

無慾恬淡、真面目で清廉

嘉永五年（一八五二）、念願叶つて出府。当代随一の腕で「四谷正宗」と称された名匠・源清磨の門に入つて献身修行に打ち込むも、師の急逝に遭う。数ある弟子が去る中、刀債の完済や家事整理にあたり、報恩を全うした。



脇指銘 安政六年清人作 名人有似所一ツ酒呑銭無ト（個人蔵）

偉大な師を偲ぶ

謙虚さと、洒脱な一面を垣間見る

「名人ニ似タル所一ツ有リ、酒呑ミト銭無シト」

清磨が名人であつたことを偲び、師の技量に遠く及ばぬことを歎き、呑んべいと貧乏だけが似ていると、我が身の不甲斐なさを述懐し、添銘とした刀（脇指）がある。

清人の、庄内人らしい生真面目さと人間味を物語る。



寒山押形 複製（個人蔵）

清人の事績を後世に 生誕・終焉の地に碑

昭和四七年（一九七二）、多くの有志により温海温泉熊野神社境内に顕彰碑が建立され、現在も偉業を偲ぶ「碑前祭」が催行されている。

刀匠豊前守藤原清人顕彰碑



重要文化財
旧渋谷家住宅



国指定名勝
酒井氏庭園



旧庄内藩主
御隠殿



重要文化財
旧鶴岡警察署厅舎



重要文化財
旧西田川郡役所



Chido Museum Information
民具の蔵
重要有形民俗文化財 収蔵庫
美術展覧会場（企画展会場）



- JR鶴岡駅より
バス10分
「致道博物館前」
下車徒歩2分
- 山形自動車道
鶴岡I.C.より
車で5分
- 庄内空港より
車で20分



1950年6月14日創立

致道博物館
CHIDO MUSEUM

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
電話:0235-22-1199 FAX:0235-22-3531
<https://www.chido.jp/> E-mail:infochido@chido.jp

「致道（ちどり）」は、庄内藩校致道館に由縁し、出典は『論語』で「君子學んで以て其の道を致す」です。

